

# 戦争法案反対 各地でパレード

## 高校生らの声響く さいたま

「戦争法案絶対反対」「憲法守れ」19日、さいたま市で「平和願う大宮デモ」が行われ、多くの若者が行き交うJR大宮駅周辺に、約300人の学生が参加した。高校生らの声は、市内の学生・高校生らでつくる「VIP（ヴァイプ）埼玉」です。デモ前に開かれたシンポジウム「今こそ知ろう 戦争法案と自衛官のリアル」では、元埼玉弁護士会会長の柳重雄氏と、元自衛官の片爪英隆氏が発言しました。



「戦争法案絶対反対」「安倍やめろ」とコールする高校生と学生のパレード。19日、さいたま市大宮区



「守りたいこの笑顔」をする青年ら。19日、広島市中区

中身と問題を説明し「戦争のリアリティを語らずに『平和と安全のため』などと言っ

## 守りたい この笑顔 広島

広島市の青年たちの戦争法案に反対するデモ行進「まもスマパレード」が19日、広島市中区で実施された。



「戦争反対」と唱和するデモ参加者。19日、福岡市

て法案を運ぶことは許されませぬ」と主張しました。片爪氏は、集団的自衛権行使を認めることは賛成だとして、「ただ、現状では憲法違反だと思つ。やるならば

憲法改正の手続きを、国民にしっかりと説明をするべきだ」と述べました。その上で、「武力で国際問題を解決するべきではない。日本が9条の下に東アジアの中で軍縮を進め

ていくのは可能だと思ふ」と語りました。父に誘われて参加した大学生の男性（18）は「法案についてよく知らなかったけど、自分も戦争に行かなければいけないのかと不安

になった」と話し、さいたま市の男性（37）は「法案の中身も決める方も怖い。こういうところに来るのは初めてだけど、何か動かないか」と思つて参加したと話しました。

パレード終結地点で「戦地に行くのは総理大臣や防衛大臣ではなく、私たちの家族、恋人、友人です」と被爆地ヒロシマに住む私たちは、戦争を望みませぬとのアピールを採択し、自民、公明両党に送りました。

## ロコミなどで集結 福岡

「若者憲法デモ@福岡」(実行委員会主催)が19日、福岡市の豊園(けい)公園で開かれ、約400人の青年らが参加した。戦争法案に反対する声は、福岡市、北九州、筑豊など県内全域から青年たちが集結し、「PEACE NOT WAR」「憲法守れ」「NOT WAR」のメッセージを送りました。グループで作ったロコミなどを胸に付け参加した山口勇人さん(25)は「福祉は平和な世の中でありたい。法案には反対。おかし」と叫ぶ国民の声を聞かず強行採決した安倍政権に怒りを感じ、国会前の集会を報道で見ても、困るも立って見られない気持ちで福岡デモに駆けつけた」と語りました。

「戦争反対」と唱和するデモ参加者。19日、福岡市